

- ・すみ分け：類似した生活様式をもつ生物間で生息場所を分け合い、競争を和らげること
- ・形質置換：競争している種が、形質を変えることにより競争を和らげること

e x) ダーウィンフィンチのくちばし

- ・デトリタス：遺体や排泄物やその分解物など、生物由来の有機物
- ・キーストン捕食者：捕食行動を通して生態系に大きな影響を及ぼす種
- ・順位制：個体群の中の個体間に優劣の順位ができ、それにより秩序が保たれている現象

e x) ニワトリのつつき（強いほうが弱いほうをつつく）

- ・リーダー制：群れを統率するリーダーがいて、群れの行動をまとまること

e x) ニホンザルの群れ

- ・血縁選択：近縁個体間において、ある個体が自らの適応度を下げて他の個体の適応度を上げることにより集団内での特定の遺伝形質が選択的に適応進化すること

e x) ミツバチ

- ・ハミルトンの法則

r：血縁度（共通祖先に由来する同じ遺伝子を共有する確率）

B：受け手において増加する適応度

C：行為者において減少する適応度

としたとき $r \times B > C$ ならば、その遺伝子は頻度を増していく可能性がある

- ・密度効果：個体群の密度が、その個体群の生態的特性や、その個体群に属する個体の生理・生態・形態上の性質に影響を与えること

e x) トノサマバッタの場合

	孤独相	群生相
体色	緑、褐色	黒、黄色
はね	短い	長い
あし	長い	短い
産卵数	多い	少ない
大きさ	小さい	大きい
集合性	なし	あり
行進行動	起こさない	起こしやすい
成虫の飛翔	夜間	昼間